

WAFCAグループ 2030年ビジョン

＜2030年の目指す姿＞ アジアの障がい児一人ひとりに寄り添い、"自立へ導く実効性ある環境づくり"に取り組んでいる

1. 海外での支援活動

【実現している行動】

WAFCAの強みである総合的、継続的支援を着実に推進

- ・一人ひとりの障がいや成長に応じた車いす、補助装具の提供
- ・障がい児の自宅、通学校、コミュニティのバリアフリー化推進
- ・障がい児、家族、教師、コミュニティへの能力向上研修の開催
- ・障がい児が社会参画できるまで継続する奨学金の提供

【生み出している成果】

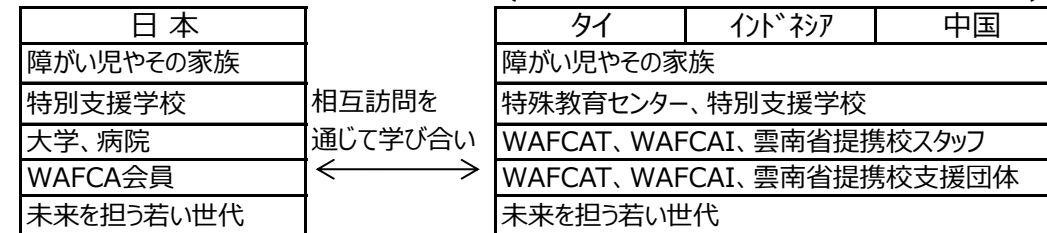
多くの障がい児が経済的自立をはじめ、一人ひとりのレベルに応じた自立を実現

	社会への参画度 →		
自立レベル ↓	車いすに座れる 家の中で動ける等		
		外出できる 学校に通学できる等	
			就職や起業をして 社会参画している等

2. 日本と海外の交流活動

【実現している行動】 日本と海外現場および海外現場間の交流を定常的かつ活発に推進

障がい児やその家族、専門家、WAFCA支援者、未来を担う若い世代が、互に行き来するface to faceの交流を通じて活発な学び合いを実施



【生み出している成果】 学び合いを通じて ①相互理解と支援レベルが向上 ②WAFCA活動への共感が各国で拡大

3. 活動財源

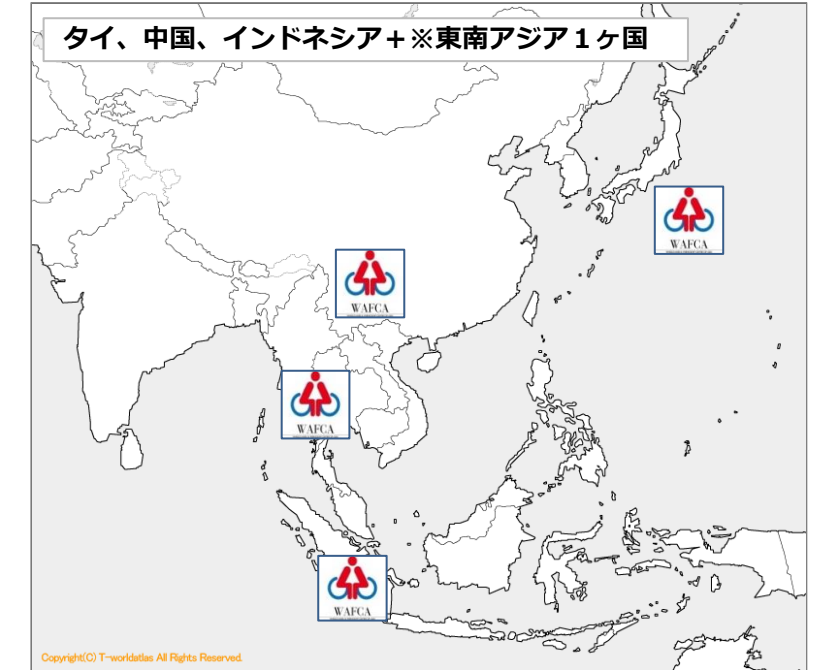
【実現している行動】

会費収入だけでなく、より幅広い資金調達の仕組みや仕掛けを構築
(個人・団体会費、教育支援、交流推進基金、一般寄付、国別・活動別寄付、遺贈寄付、事業収入、助成金等)

【生み出している成果】

国内外での支援、交流活動を円滑に行うための財源を安定的に確保

4. 活動エリア



※東南アジア1ヶ国⇒以下3条件を満たす国の中から選定

- ・政府やNPOによる障がい者支援が充分に行き届いていない国
- ・NPO活動に対して、著しい規制や制約がない国
- ・デンソーの海外拠点がある国
(別途、現地調査の上、支援対象国を決定)